

令和2年4月12日
県立病院

県立病院職員の新型コロナウイルス感染について

当院に勤務する看護師が、新型コロナウイルスに感染したことが判明しましたのでご報告します。

1 当該職員の概要

年代：40代

性別：女性

職種：看護師（一般病棟および新型コロナウイルス感染症病棟勤務）

居住地：越前市

2 経過等

(1) 経過

4月6日（月）

19時まで勤務した後、帰宅途中に頭痛と悪寒を自覚

4月7日（火）

発熱なし。予定の11時30分から勤務し頭痛および全身倦怠感を感じたため

13時30分で早退

4月8日（水）

朝から嘔気、全身倦怠感、下痢。37.5℃→38℃台。自宅待機

4月9日（木）

嘔気、頭痛、全身倦怠感。37.0℃。自宅待機

4月10日（金）

嘔気、頭痛、全身倦怠感。37.6℃。14時頃検体採取

4月11日（土）

PCR検査を実施。陽性が判明

4月12日（日）

感染症指定病院に入院

(2) 現在判明している事実

- ・当該職員は4月1日準夜勤務、2日週休日、3日は日勤として当院の新型コロナウイルス感染症病棟にて看護を行っていた。4月4日、5日は週休日、6日は一般病棟にて日勤、7日は11時30分から勤務し、頭痛および全身倦怠感があったため早退。以降自宅待機。4月10日にPCR検査を行い、4月11日に陽性が判明した。

- ・当該職員は、新型コロナウイルス陽性患者の対応を行う際は、キャップ、N95マスク、フェイスシールド、二重のアイソレーションガウン、二重の手袋、シューカバーを着用していた。また、陽性でない患者の対応においてはサージカルマスク、必要に応じて手袋、ビニールエプロンを着用し、感染防止対策をとっている。
- ・現時点で把握している限り、当該職員と接触した職員は56名、患者は45名である。
- ・現時点で、当該職員と接触した患者2名や職員1名に発熱の症状があり、PCR検査を実施した結果、陰性が確認された。

3 病院の対応

- (1) 当該職員が一般病棟に勤務した6日、7日は管理業務を主に行っており、患者、看護師との濃厚接触は確認されていないが、当該職員と接触した入院患者についてはPCR検査を実施する。結果は明日未明までに判明する予定であり、明日11時の会見でお知らせする。なお、その結果が出るまで、当該職員の勤務していた一般病棟は面会を禁止する。また、退院患者についても個別に連絡を取り、PCR検査を行う予定。症状があった場合には、病院に連絡するよう伝えている。
- (2) 当該職員と接触した職員についても、PCR検査を実施し、健康観察を行っている。この結果についても明日未明までに判明する予定。
- (3) 今後、当該職員が勤務した2病棟について徹底的に消毒を実施する。

4 今後の診療について

新型コロナウイルス陽性患者の受入れとケアは継続する。当該職員が勤務した一般病棟は10日程度新規の受入れを停止する。

その他の病棟および三次救急を含めた外来に来られる県民の方に、これまでどおりの診療を安心して受けていただけるよう真摯に検討していく。